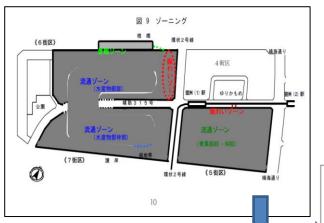
代表的な質問事項

1. 前提条件(設計の与条件)

Q:日本近海の漁獲高が15年前の約半分になる中で、近代的な施設に変えると構想は理解できるが、1.8倍の床面積が必要だと考えた理由を、物流機能別に説明してください。

Q:築地市場が狭隘だから豊洲新市場を開場しようとしたと理解するが、水産卸売場、水産仲卸売場、青果卸・仲卸売場について、それぞれ、その面積として設計した理由を説明してください。

基本計画から実施計画のまとめの間で「卸と仲卸の場所が変更」

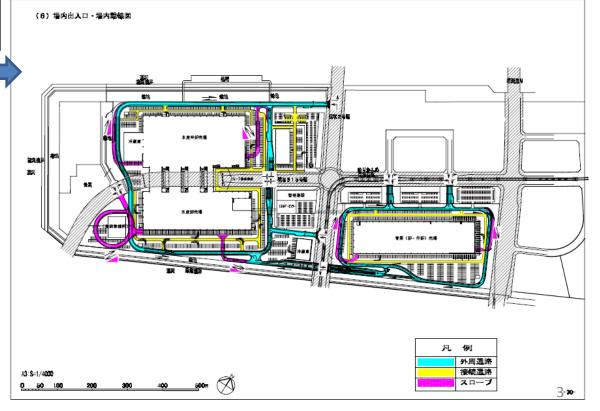


(4) 買い回りしやすく、買出人等に使いやすい施設 買出人の買い回りエリアを集約し、駐車場から買い回りエリア、 バースまでのスムーズな動線を設定することで、買出人の利便性 の向上を図る。(「豊洲新市場実施計画のまとめ」 3頁)

基本計画では、水産仲卸 が7街区にあり、6街区の 水産卸、5街区の青果の 中間にあった。

実施計画のまとめでは、 水産仲卸が6街区、水産 卸が7街区となり、次の事 項が課題。

- ①水産と青果の買い回り
- ②桟橋の活用



- 2.5街区・6街区・7街区の搬入・搬出、滞留
 - (1)自動車の経路(自動車の動線・駐車場)
 - (2) 荷の経路(荷物の動線・荷捌き所)
 - (3)買い回りの動線

Q:豊洲市場の建物配置・道路付け・買い回りの動線確保を考える際に、何を優先したか、教えてください。

市場は、生鮮食品等の取引の場・物流の場であり、この観点から、次のことをどう考えたか、経緯を時系列で説明してください。

- ①6街区・7街区の位置、
- ②買い回りへの配慮、
- ③物流量・トラック台数と混雑時間帯の予測と対応

それでも再整備をしたら?

『築地市場の移転整備 疑問解消BOOK』より

売場施設などを重層化したら敷地に収まらないの?

狭隘な敷地に、品質管理の高度化などに対応する新たな機能を備えた市場を整備するには、 売場施設等の重層化が考えられますが、以下のようなデメリットがあります。

物流効率の著しい低下

深夜から早朝の限られた時間内に大量の荷の搬送が行われる ため、エレベーターやスローブの利用集中による待ち時間・混 雑の発生や、スローブ等を通じて上層階へ荷を運ぶための搬 送距離の延長などにより、物流効率が著しく低下します。

コストの増大

平面配置に比べ、建設費用 が増大し、エレベーター等 の維持管理費用もかさみま す。



- 卸売市場では、小売店等の営業時間に間に合うよう、限られた時間内に、荷の搬入・荷さばき・配送等の作業を終えなければなりません。このため、効率的な物流が行える施設配置とする必要があり、重層化には一定の制約があります。
- 施設の建設費や維持管理費については、受益者負担の観点から、施設を使用し、営業活動を行っている市場業者に負担を求めています。売場施設等を重層配置した場合、平面配置と比べて建設費等が増加することから、市場業者の負担も極めて重いものとなります。

豊洲市場の建物は重層化されているので、

- ●物流効率、搬入・搬出の自動車の、場内滞留時間に影響
- ●エレベーター などの維持管理 費用に影響

新たな基幹市場として発展するためには、移転整備しかありません。

3. 個別の課題

- (1)6街区(水産仲卸売場棟)入口のヘアピンカーブ
- (2)水産仲卸売場棟内のスロープのヘアピンカーブ
- (3)水産仲卸業者の作業時間(水産卸売場棟から水産仲卸売場棟への移動)
- (4)バースの数・屋根の設置(水産卸売場棟(7街区))
- Q.鮮度を保つ仕組みは、温度管理・円滑な物流等があるが、7街区(鮮魚・活魚)の搬入、6街区の1,3,4階からの搬出にどれだけの時間を要するか、想定した基準時間、及び、築地市場との違いを教えてください。
- Q. 7街区のバースの数が足りないという意見があるが、設計段階で、どのような計算をして、バースの数を割りだしたのか。また、現状でバースの数は不足をしていると考えているのか?
- Q. 「車両情報システム」について、業者側と市場(東京都)側のシステム を別々に設計・開発するようになった経緯をご説明いただきたい。

6街区構内交差部の車両の軌跡

